

平成29年度 防府市子ども・子育て会議（第2回）会議録（要旨）

1 日 時	平成29年11月21日（火） 午前9時30分～11時
2 場 所	防府市役所1号館3階 第1会議室
3 出席者	<p>【委員】 松田委員、岩城委員、村田委員、池永委員、脇委員、東福委員、山崎委員、島田委員、高山委員、正長委員、宮本委員、蓑島委員、吉岡委員</p> <p>※欠席 今川委員、大木委員、柴田委員、松永委員、広石委員、松浦委員</p> <p>【行政推進委員】 工藤健康福祉部次長兼健康増進課長、岡田学校教育課長補佐</p> <p>【事務局】 林健康福祉部長、相山子育て支援課長、原田子育て支援課長補佐、山本子育て支援課子育て支援係長、西上子育て支援課保育係長</p>
4 傍聴者	なし
5 議 題	<p>(1) 小規模保育事業利用定員の設定と認可基準について</p> <p>(2) 防府市子ども・子育て支援事業計画における中間年の見直しについて</p> <p>(3) その他</p>

1 開会

2 議事

○ 会議の成立

【事務局】

- ・出席委員13人で総委員数の19人の過半数を超えており、防府市子ども・子育て会議条例第6条3項の規定により、会議の成立を宣言。

○ 会議の公開

【会長】

- ・議事に入るに当たり、公開が原則であるが、よろしいか。

【委員一同】

- ・異議なし

(1) 小規模保育事業利用定員の設定と認可基準について

【事務局】

- ・申請者は、「特定非営利活動法人やまぐち子育て」。
- ・特定教育・保育施設の種類の種類は、保育所。
- ・「特定非営利活動法人やまぐち子育て」は、現在、八王子二丁目で小規模保育事業所「ひまわりキッズ」を運営しているが、駅南町に園舎を新設し、今月を目途に移転される予定。
- ・家庭や地域社会を取り巻く環境の変化により、今後ますます高まる保育需要の環境整備に取り組むため、この度、移転前の園舎がある八王子二丁目でも新たに小規模保育事業B型の認可を申請されるものである。
- ・利用定員については、認定の種別は3号定員、人数は19人、内訳は1・2才が13人、0才が6人で設定。
- ・平成29年度の量の見込みと確保の方策によると、3号認定の確保方策が1～2歳で▲18人、0歳で▲15人となっているが、前回の子ども・子育て会議で事業所内保育事業所の開設により地域枠が5人設けられ、計画上の不足人数は、1～2歳で▲14人、0歳で▲14人になったので、今回認定されると、1～2歳で▲1人、0歳で▲8人となり、さらに計画の確保方策の改善が図られる。

【委員】

- ・給食は、自園調理・連携施設等からの搬入ということだが、連携幼稚園のまりふ幼稚園からでは距離が遠いと思うがどうか。

【事務局】

- ・給食は、認定こども園まりふ幼稚園からの搬入ではない。特定非営利活動法人やまぐち子育てが運営されている企業主導型の施設からの搬入で、移転先に隣接している。

【委員一同】

- ・異議なし

(2) 防府市子ども・子育て支援事業計画における中間年の見直しについて

【事務局】

- ・防府市子ども・子育て支援事業計画における中間年の見直しについて、前回の会議開催後に、地域子育て支援拠点事業において、新田保育園が子育て支援センター「ありんこクラブ」の開設をしたので、その実績に基づき1か所追加し、平成30年度、31年度の確保方策を7か所から8か所へ変更し、地域の子育て支援機能の更なる充実を図る。
- ・「実費徴収に係る補足給付を行う事業」と「多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業」の質の向上について、「新規事業のため、

今後、方向性を検討します」としていたことから、内容を修正する。

- ・防府市子ども・子育て支援事業計画の中間見直しにより計画冊子の修正（案）を示す。
- ・中間年の見直し箇所最終（案）は以下①～⑤のとおりである。
 - ①子育て世代包括支援センターまんまるほうふの開設により「利用者支援事業」の確保方策の増加および質の向上を追加
 - ②子育て支援センター開設により「地域子育て支援拠点事業」の確保方策を増加
 - ③「放課後子ども総合プラン」に関する計画の追加
 - ④実費徴収に係る補足給付を行う事業の質の向上を修正
 - ⑤多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業の質の向上を修正

【委員】

- ・放課後児童健全育成事業において、留守家庭児童学級と放課後子ども教室はもともと設置の目的の意味が違うと思うが、一体型を目指すとは具体的にどういうことか。

【事務局】

- ・一体型というのは、同じ学校の中で留守家庭児童学級と放課後子ども教室が行われ、留守家庭児童学級に在籍する子どものうち希望者は、放課後子ども教室に参加し、お互いに連携をとりながら運営することである。

【委員】

- ・市子育て支援拠点事業に関して、見直しの中で、「休日における利用ニーズに応じ、多様な実施主体による開設等について検討します」とあるが当初計画と実績値は大きく乖離しており、ニーズは土日に関してあるというふうに考えられているのか。数字はどのように把握されているのか。土日に限って更に拡大していきたいという考えはあるのか。

【事務局】

- ・休日における利用人数は、子ども・子育て支援事業計画を作成するに当たりアンケート調査を行っている。アンケート調査の中で休日も利用したいという声があるので、その方向で検討を進めていきたい。

【委員】

- ・ショートステイの事業に関してすごく数値が低い。それは一つは受け皿がないということがある。ショートステイに関して、今後は、予防的な支援を特化していきたいと考えている。社会的支援はもちろん、子育ての事業に関しての数、もっと気軽に使えるようなシステムの見直しの検討を一緒にできたらと考えている。

【事務局】

- ・短期支援事業は海北園などで受けていただいているが確かに利用状況が少なく、事業そのものを知らない方も多いと思っているのでPR等や量の確保に努めたい。

（3）その他

【行政推進委員】

- ・10月2日に開設したまんまるほうふについて10月いっぱいの実績は、訪問や電話相談、来所相談など71件である。相談する場所があるということで、気軽に来られて、ゆっくり話をして、子育てのイライラなどを解消して帰られることがあった。今後も地域の方やいろんな方に利用していただきたい。

【事務局】

- ・富海保育所の認定こども園化について、県からの認可通知を受理した。

3 部長挨拶

- ・防府市子ども・子育て支援事業計画について、中間年度・見直しの計画を3月議会において上程する予定である。
- ・富海保育所の認定こども園化について手続きを進めている。12月議会において条例改正を行い、予定通り進めば平成30年4月1日から認定こども園としてスタートすることになる。
- ・来年度は計画の見直しに向けて、市民アンケートを実施していく予定である。

4 閉会

【事務局】

- ・審議、検討に感謝申し上げる。
- ・次回開催については、来年7月を予定しているが、正式に決まり次第、案内を差し上げる。